選素形態 講義 悪程度修生次	科目名	慢性看護学IV特論 Advanced Lecture on Chronic Care Nursing IV
選集服権年次 ・ 1年次 ・ 1		
表施学期・礎時限等 春80学期 未確1:2時限 基施場所 共同利用展204 単位数 2単位 日高紀久江 Hidaka Kikue 按梅勢江 Anme Tokie · 浅野 美利、Asano Yoshihiro 崇山大賀 Shibayama Taiga 非常勤講師・岡美智代 アイーチングフェロー(TF)・ アイーチングフェロー(TF)・ アイーチングフェクタント(TA) アイーチングフェクタント(TA) アイーチングアンスタント(TA) アイーチングアシスタント(TA) アイーチングアシスタント(TA) 中で音成果 慢性病者に適用される医療・福祉の制度や体制、および質の高い生活に向けた地域 社会支援の革新方策とその評価方法について学ぶ。 地の授業利目との関連 連修集件 構造で数段した総論的知識を、学生自身がさらに深めてプレゼンテーションをし、そ れをもとに数量や学生同土で討論を行う。 保性病(formoid disease)、保健医療サービス(healthcare services)、福祉サービス (weffare services)、地域社会支援(Community support) 同学第分類 12 (7) 慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(2) 医療保険と診療報酬体系(日高) アイン(慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(2) 医療保険と診療報酬体系(日高) のイン(慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(3) 離音手帳(日高) アイン(慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(3) 離音手帳(日高) のイン(慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(5) 脚連音手帳(日高) のイン(慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(5) 脚連音手帳(日高) のイン(慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(5) 脚連音を変える保健・医療・福祉制度(5) 脚部の医療費助成制度(日高) 10 (グ慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(5) 脚部が変(2) コミニーマーエンバイン(大会権)) 11・12 (グ) 質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(1) ピアサポート(日高) 11・12 (グ) 質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(3) 看護情報の管理(浅野) 17・18 (グ) 質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(3) 看護情報の管理(浅野) 17・18 (グ) 質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(3) 日談情報の管理(浅野) 19・20 (グ質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(3) 日談情報の管理(浅野) 19・20 (グ質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(3) 日談情報の管理(浅野) 19・20 (グ質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(3) 日談情報の管理(浅野) 11・18 (グ質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(3) 日談情報の管理(浅野) 11・18 (グ質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(3) 日談情報の管理(浅野) 11・18 (グ質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(3) 日談情報の管理(表別表の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(3) 日談情報の管理(3) 日談情報の管理(3		
要能場所 単位数 2単位 日高記分江 Hidaka Kikue 日高記分江 Hidaka Kikue 安梅勢江 Anme Tokie 法野 美礼 Asano Yoshihiro 楽山大賞 Shibayama Taiga 非常勤講師・岡美智代 ナイ・チングフェロー(TF)・ ディーチングフェロー(TF)・ ディーチングアシスタント(TA) オフィスアワー等 事前に確認し助変すること 受薬の到達目律 (性性病者に適用さんる医療・福祉の制度や体制、および質の高い生活に向けた地域 社会支援の革新方策とその評価方法について学ぶ。 他の授業科目との関連 医修条件 講話で教授した総論的知識を、学生自身がさらに深めてブレゼンテーションをし、そ れをもとに教員や学生同土で討論を行う。 (特別のでは、日本のでは、日	実施学期•曜時限等	
単位 日高紀久江 Hidaka Kikue 安梅勃江 Anme Tokie 浅野 美礼 Asano Yoshihiro 柴山大質 Shibayama Taiga 非常動講師: 岡美智代 ディーチングフェロー(TF)・ ディーチングフェロー(TF)・ ディーチングアシスタント(TA) オース・アフー等 ・ 一方・ス・アフー等 ・ 一般で表して、		
日当教員名 日高紀久江 Hidaka Kikue 皮権助江 Anne Tokie 浅野 美礼 Asano Yoshihiro 柴山大質 Shibayama Taiga 非常動講師・岡美智代 ナノスアリー等 事前に確認し抜変すること 要求の到達目標 (学音成果) 地の授業科目との関連 関係条件 特になし。 選権で教授した総論的知識を、学生自身がさらに深めてプレゼンテーションをし、それをもとに教しや学生自由で討論を行う。 (Weifara Services)、地域社会支援の単新方策とうに深めてプレゼンテーションをし、それをもとに教しや学生自由で討論を行う。 (Weifara Services)、地域社会支援(Ommunity support) (Vieting者を支える保健・医療・福祉制度(1)総論(日高) 3・4(ソ慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(2)と護療保険と診療報酬体系(日高) 5・6(ソ慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(3)障害者手帳(日高) 7(ソ侵性病者を支える保健・医療・福祉制度(3)障害者手帳(日高) (7(ソ侵性病者を支える保健・医療・福祉制度(3)障害者手帳(日高) (7(ソ侵性病者を支える保健・医療・福祉制度(3)障害者をした(3)に(1)((2)性病者を支える保健・医療・福祉制度(3)障害者手帳(日高) (7(ソ侵性病者を支える保健・医療・福祉制度(3)障害者手帳(日高) (7(ソ侵性病者を支える保健・医療・福祉制度(5)時ずる総合大度法(日高) (7(ソウリの高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(1)ビアサポート(日高) (10(ソ慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(5)時で、地康増生等と(日高) (11・(2)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(1)ビアサポート(日高) (11・(2)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(3)看護情報の管理(浅野) (17・18(ノ質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(3)看護情報の管理(浅野) (17・18(ノ質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(3)利護情報の管理(浅野) (17・18(ノ質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(5)ADL拡大を目指した支援技術(日高) (7)(ツ質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(6)ADL拡大を目指した支援技術(日高) (4)(ツ質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(5)ADL拡大を目指した支援技術(日高) (7)(ウ質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(6)ADL拡大を目指した支援技術(日高) (4)(ウェ活に向けた地域社会支援の革新方策(6)ADL拡大を目指した支援技術と認うの方向性を提示できる。 2 質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(6)ADL拡大を目指したとはと称いの方向性を提示できる。 3 保健医療・福祉の制度や体制について説明できる。 2 質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(5)ADL拡大を目指した支援が関係しまるに助力を向上にして、数様辞述を表しまるに助力を向上にして、数様辞述を表しまるに助力を向上に対しまれませんが表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表		
安権助江 Anne Tokie		. —
注野 美礼 Asano Yoshihiro		
中イーチングフェロー(TF)・ ティーチングアシスタント(TA) 東部訓講師: 岡美智代 ディーチングアシスタント(TA) 東部に確認し抗室すること 受薬の到達目標 (学習成果) 地会支援の革新方策とその評価方法について学ぶ。 慢生病者に適用される医療・福祉の制度や体制、および質の高い生活に向けた地域 ・独立援の革動方策とその評価方法について学ぶ。 横楽で報要 「特になし。 「教養・神」では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般		
非常動議師: 岡美智代 ディーチングフェロー(TF)・ ディーチングアシスタント(TA) オフィスアリー等 事前に確認し訪童すること 受業の到重目標 (性性のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、		
アイーチングフェロー(TF)・ アイーチングアシスタント(TA) 製業の到達目標 (学習の規)) 他の授業科目との関連 著名、機能の主義の主義の主義の主義の主義の主義の主義の主義の主義の主義の主義の主義の主義の		
FA-アングアシスタント(TA) オフィスアコー等 東前に確認し防室すること 侵乗の到達目標 (学育成果) 他の授業科目との関連 夏修条件 特になし。 漫業概要 特になし。 侵性病(chronic disease)、保健医療サービス (healthcare services)、福祉サービス (Wetfare services)、地域社会支援(Community support) 侵業計画 1・2(/)侵性病者を支える保健・医療・福祉制度(1)総論(日高) 3・4(/)慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(1)総論(日高) 5・6(/)慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(2)障害者能令支援法(日高) (/)侵性病者を支える保健・医療・福祉制度(3)障害者能令支援法(日高) (/)侵性病者を支える保健・医療・福祉制度(4)介酸保険制度(日高) (/)侵性病者を支える保健・医療・福祉制度(5)離病の医療費助成制度(日高) (/)侵性病者を支える保健・医療・福祉制度(5)障害者能令支援法(日高) (/)侵性病者を支える保健・医療・福祉制度(5)障害者能令支援法(日高) (/)侵性病者を支える保健・医療・福祉制度(5)障害者能令支援法(日高) (/)投性病者を支える保健・医療・福祉制度(3)がよりに高。) (/)投性病者を支える保健・医療・福祉制度(3)がよりに高。) (/)投性病者を支える保健・医療・福祉制度(3)が表別・と日高。) (/)投病者を支える保健・医療・福祉制度(3)が表別・と日高。) (/)投病者を支える保健・医療・福祉制度(3)が素の主意を接別の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(4)とASEプログラムの理論と実践(6) (/) 対別・とは、とは、とは、とは、とは、とは、をは、とは、をは、とは、とは、とは、とは、とは、とは、とは、専門性の高いを表し、とは、とは、とは、専門性の高いを表し、とは、とは、専門性の高いを表し、とは、とは、専門性の高いを表し、とは、とは、専門性の高いを表し、とは、とは、専門性の高いを表し、とは、とは、専門性の高いを表し、とは、とは、専門性の高いを表し、とは、とは、専門性の高いを表し、とは、専門性の高いを表し、とは、とは、専門性の高いを表し、とは、とは、専門性の高いを表し、とは、とは、とは、とは、とは、とは、とは、とは、とは、とは、とは、とは、とは、		非吊封碑印
** お前に確認し防室すること 要素の到達目標 特になし。 愛素和国を関連 を作為者に適用される医療・福祉の制度や体制、および質の高い生活に向けた地域 社会支援の革新方策とその評価方法について学ぶ。 を修案件 関連を修案件 関性病者に適用される医療・福祉の制度や体制、および質の高い生活に向けた地域 社会支援の革新方策とその評価方法について学ぶ。 を修案件 関性病 (chronic disease)、保健医療サービス (healthcare services)、福祉サービス (welfare services)、地域社会支援(Community support) 「2() 慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(3) 障害者手帳(日高) 3・4(/) 慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(3) 障害者手帳(日高) 3・4(/) 慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(3) 障害者手帳(日高) 3・(/) 慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(4) か諸医保験制度(5) に高) (の) (慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(4) か諸医保験制度(1) について) (の) (慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(4) かまのと療動成制度(日高) (の) (慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(4) かまのと療動成制度(日高) (の) (慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(7) 予防・健康増進事業(日高) (1) (り 健病者と支える保健・医療・福祉制度(3) 障害者が支援(3) 高) (1) (1) (1) (1) (1) (2) (2) (2) (3) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (5) (4) (5) (5) (6) (6) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	ティーチングフェロー(TF)・	
要楽の到達目標 慢性病者に適用される医療・福祉の制度や体制、および質の高い生活に向けた地域	ティーチングアシスタント(TA)	
学習成果) 世の授業科目との関連 地の授業科目との関連 との授進を条件 特になし。 関策 概要 は	オフィスアワー等	事前に確認し訪室すること
他の授業科目との関連 「特になし。 「優楽 神	授業の到達目標	慢性病者に適用される医療・福祉の制度や体制、および質の高い生活に向けた地域
覆修条件 特になし、 要素概要 請義で教授した総論的知識を、学生自身がさらに深めてプレゼンテーションをし、それをもとに教員や学生同土で討論を行う。 本一ワード 慢性病(chronic disease)、保健医療サービス(healthcare services)、福祉サービス(welfare services)、地域社会支援(Community support) 「2(/)慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(1)総論(日高) 3・4(/)慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(3)障害者・帳(日高) 5・6(/)慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(3)障害者・帳(日高) 7(/)慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(3)障害者・帳(日高) 8(/)慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(4)介護保険制度(日高) 9(/)慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(5)障害者総合支援法(日高) 9(/)慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(6)難病の医療費助成制度(日高) 10(/)慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(7)予防・健康増進事業(日高) 11・12(/)質の高に生活に向けた地域社会支援の革新方策(2)コミュニティー・エンパワメント(安梅) 15・16(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(2)コミュニティー・エンパワメント(安梅) 15・16(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(3)看護情報の管理(浅野) 17・18(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(5)ADL拡大を目指した支援技術(日高) 19・20(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(5)ADL拡大を目指した支援技術(日高) 第・20(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(5)ADL拡大を目指した支援技術(日高) 第・20(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策とその評価方法で力に対した。 第に方法と評価配分発表と計論の内容(50%)、レポート(50%) 評価基準 1、慢性病者に適用される医療・福祉の制度や体制について説明できる。3、保健医療福祉サービスの視点から事例を検討し、慢性看護の質の向上に反映させるための方向性を提示できる。5 請義や発表内容について、科学的、論理的な視点からの討論により、専門性の高い者護実践をおにあっための課題や方向性を提示できる。5 請義や発表内容について、科学的、論理的な視点からの討論により、専門性の高い者護実践をおこったの課題や方向性を提示できる。	(学習成果)	社会支援の革新方策とその評価方法について学ぶ。
覆修条件 特になし、 要素概要 請義で教授した総論的知識を、学生自身がさらに深めてプレゼンテーションをし、それをもとに教員や学生同土で討論を行う。 本一ワード 慢性病(chronic disease)、保健医療サービス(healthcare services)、福祉サービス(welfare services)、地域社会支援(Community support) 「2(/)慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(1)総論(日高) 3・4(/)慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(3)障害者・帳(日高) 5・6(/)慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(3)障害者・帳(日高) 7(/)慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(3)障害者・帳(日高) 8(/)慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(4)介護保険制度(日高) 9(/)慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(5)障害者総合支援法(日高) 9(/)慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(6)難病の医療費助成制度(日高) 10(/)慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(7)予防・健康増進事業(日高) 11・12(/)質の高に生活に向けた地域社会支援の革新方策(2)コミュニティー・エンパワメント(安梅) 15・16(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(2)コミュニティー・エンパワメント(安梅) 15・16(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(3)看護情報の管理(浅野) 17・18(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(5)ADL拡大を目指した支援技術(日高) 19・20(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(5)ADL拡大を目指した支援技術(日高) 第・20(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(5)ADL拡大を目指した支援技術(日高) 第・20(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策とその評価方法で力に対した。 第に方法と評価配分発表と計論の内容(50%)、レポート(50%) 評価基準 1、慢性病者に適用される医療・福祉の制度や体制について説明できる。3、保健医療福祉サービスの視点から事例を検討し、慢性看護の質の向上に反映させるための方向性を提示できる。5 請義や発表内容について、科学的、論理的な視点からの討論により、専門性の高い者護実践をおにあっための課題や方向性を提示できる。5 請義や発表内容について、科学的、論理的な視点からの討論により、専門性の高い者護実践をおこったの課題や方向性を提示できる。	他の授業科目との関連	
授業概要 講義で教授した総論的知識を、学生自身がさらに深めてブレゼンテーションをし、それをもとに教員や学生同士で討論を行う。 特・フード 慢性病(chronic disease)、保健医療サービス(healthcare services)、福祉サービス(welfare services)、地域社会支援(Community support) 1・2(/)慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(1)総論(日高) 3・4(/)慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(2)医療保険と診療報酬体系(日高) 5・6(/)慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(3)障害者手帳(日高) 7(/)慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(3)障害者手帳(日高) 8(/)慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(5)障害者を支援法(日高) 9(/)慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(5)障害者総合支援法(日高) 10(/)慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(7)予防・健康増進事業(日高) 11・12(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(1)ピアサボート(日高) 13・14(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(2)コミュニティ・・エンパフメント(安梅) 15・16(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(3)看護情報の管理(浅野) 17・18(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(4)EASEプログラムの理論と実践(間) 19・20(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(4)EASEプログラムの理論と実践(間) 19・20(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(5)ADL拡大を目指した支援技術(日高) 病いとともに生きる人々の立場に立って、背景にある問題の具体例や解決方法について、積極的に思考する態度をもつこと。自ら諸理論の解釈をおこない、教員や学生同士でその活用方法の討論によって、臨床(研究)現場における応用力を向上させること。 2質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策とその評価方法について説明できる。 2質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策とその評価方法について説明できる。 2質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策とその評価方法について説明できる。 4地域や在宅での療養を支援する方法について理解し、慢性看護の質の向上に反映させるための方向性を提示できる。 4地域や在宅での療養を支援する方法について理解し、慢性看護の質の向上に反映させるための方向性を提示できる。 5 講教や発表内容について、科学的、論理的な視点からの討論により、専門性の高しれるに実践をおこな方とめの課題や方向性を提示できる。 上記に対応した評価基準は以下のとおりである。 A+上記1~5を自身で達成できる。	履修条件	特になし。
本・フード 慢性病(chornic disease)、保健医療サービス(healthcare services)、福祉サービス(welfare services)、地域社会支援(Community support) 同学計画	授業概要	講義で教授した総論的知識を、学生自身がさらに深めてプレゼンテーションをし、そ
特一ワード 慢性病(chronic disease)、保健医療サービス(healthcare services)、福祉サービス(welfare services)、地域社会支援(Community support) 1・2() 慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(1) 総論(日高) 3・3・4() 慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(3) 障害者等(と診療報酬体系(日高) 5・6() 慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(3) 障害者等(日高) 7() 慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(3) 障害者総合支援法(日高) 9() 慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(6) 難病の養費的成制度(日高) 10() 慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(7) 予防・健康増進事業(日高) 11・12() 質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(1) ピアサポート(日高) 11・12() 質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(2) コミュニティー・エンパワメント(安梅) 15・16() 質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(3) 看護情報の管理(浅野) 17・18(/) 質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(3) 看護情報の管理(浅野) 19・20(/) 質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(5) ADL拡大を目指した支援技術(日高) 19・20(/) 質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(5) ADL拡大を目指した支援技術(日高) 19・20(/) 質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(5) ADL拡大を目指した支援技術(日高) 第一次(1) 質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(5) ADL拡大を目指した支援技術(日高) 第一次(1) 質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(5) ADL拡大を目指した支援技術(日高) 第一次(1) 質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策とその評価方法について説明できる。 2 質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策とその評価方法について説明できる。3 保健医療福祉サービスの視点から事例を検討し、慢性看護の質の向上に反映させるための方向性を提示できる。4 地域や在宅での療養を支援する方法について理解し、慢性看護の質の向上に反映させるための方向性を提示できる。5 諸義や発表内容について、科学的、論理的な視点からの討論により、専門性の高い看護実践をおこなうための課題や方向性を提示できる。 上記に対応した評価基準は以下のとおりである。 A+上記1~5を自身で達成できる。		
(welfare services)、地域社会支援(Community support) 1・2(/)慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(1)総論(日高) 3・4(/)慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(2)医療保険と診療報酬体系(日高) 5・6(/)慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(3)障害者手帳(日高) 7(/)慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(4)介護保険制度(日高) 8(/)慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(5)障害者総合支援法(日高) 9(/)慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(5)障害者総合支援法(日高) 10(/)慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(5)障害者総合支援法(日高) 10(/)慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(5)障害者総合支援法(日高) 10(/)慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(7)予防・健康増進事業(日高) 11・12(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(1)ピアサポート(日高) 13・14(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(2)コミュニティー・エンパワメト(安梅) 15・16(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(3)看護情報の管理(浅野) 17・18(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(4)EASEプログラムの理論と実践(岡) 19・20(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(5)ADL拡大を目指した支援技術(日高) 病いとともに生きる人々の立場に立って、背景にある問題の具体例や解決方法について、積極的に思考する態度をもつこと。自ら諸理論の解釈をおこない、教員や学生同士でその活用方法の討論によって、臨床(研究)現場における応用力を向上させること。 1 慢性病者に適用される医療・福祉の制度や体制について説明できる。2 質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策とその評価方法について説明できる。3 保健医療福祉サービスの視点から事例を検討し、慢性看護の質の向上に反映させるための方向性を提示できる。5 消義や発表内容について、科学的、論理的な視点からの討論により、専門性の高い看護実践をおこなうための課題や方向性を提示できる。 上記に対応した評価基準は以下のとおりである。 上記に対応した評価基準は以下のとおりである。 上記に対応した評価基準は以下のとおりである。	キーワード	
では、	()	
3・4(//慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(2) 医療保険と診療報酬体系(日高) 5・6(//慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(3)障害者手帳(日高) 7(//慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(4)介護保険制度(日高) 8(//慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(5)障害者総合支援法(日高) 9(//慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(6)難病の医療費助成制度(日高) 10(//慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(7)予防・健康増進事業(日高) 11・12(//)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(1)ピアサポート(日高) 13・14(//質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(2)コミュニティー・エンパワメント(安梅) 15・16(//質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(3)看護情報の管理(浅野) 17・18(//質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(4)EASEプログラムの理論と実践(岡) 19・20(//質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(5)ADL拡大を目指した支援技術(日高) 病いとともに生きる人々の立場に立つて、背景にある問題の具体例や解決方法について、積極的に思考する態度をもつこと。自ら諸理論の解釈をおこない、教員や学生同士でその活用方法の討論によって、臨床(研究)現場における応用力を向上させること。 2 質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策とその評価方法について説明できる。 2 質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策とその評価方法について説明できる。 3 保健医療福祉サービスの視点から事例を検討し、慢性看護の質の向上に反映させるための方向性を提示できる。 4 地域や在宅での療養を支援する方法について理解し、慢性看護の質の向上に反映させるための方向性を提示できる。 5 講義や発表内容について、科学的、論理的な視点からの討論により、専門性の高い看護実践をおこなうための課題や方向性を提示できる。 上記に対応した評価基準は以下のとおりである。 A + 上記1~5を自身で達成できる。	授業計画	
5・6(// 慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(3)障害者手帳(日高) 7(// 慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(4)介護保険制度(日高) 8(/ 慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(5)障害者総合支援法(日高) 9(/ 慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(5)障害者総合支援法(日高) 10(// 慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(6)難病の医療費助成制度(日高) 11・12(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(1)ピアサポート(日高) 11・12(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(2)コミュニティー・エンパワメント(安梅) 15・16(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(3)看護情報の管理(浅野) 17・18(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(4)EASEプログラムの理論と実践(間) 19・20(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(5)ADL拡大を目指した支援技術(日高) 病いとともに生きる人々の立場に立って、背景にある問題の具体例や解決方法について、積極的に思考する態度をもつこと。自ら諸理論の解釈をおこない、教員や学生同土でその活用方法の討論によって、臨床(研究)現場における応用力を向上させること。 2質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策とその評価方法について説明できる。 2質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策とその評価方法について説明できる。 3 保健医療福祉サービスの視点から事例を検討し、慢性看護の質の向上に反映させるための方向性を提示できる。 4 地域や在宅での療養を支援する方法について理解し、慢性看護の質の向上に反映させるための方向性を提示できる。 5 講義や発表内容について、科学的、論理的な視点からの討論により、専門性の高い看護実践をおこなうための課題や方向性を提示できる。 上記に対応した評価基準は以下のとおりである。 A + 上記1~5を自身で達成できる。	IX A II E	
7(// 慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(4)介護保険制度(日高) 8(// 慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(6)障害者総合支援法(日高) 9(// 慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(6)難病の医療費助成制度(日高) 110(/) 慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(7)予防・健康増進事業(日高) 11・12(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(1)ピアサポート(日高) 13・14(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(2)コミュニティー・エンパワメント(安梅) 15・16(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(3)看護情報の管理(浅野) 17・18(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(4)EASEプログラムの理論と実践(岡) 19・20(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(5)ADL拡大を目指した支援技術(日高)病いと活に向けた地域社会支援の革新方策(5)ADL拡大を目指した支援技術(日高)病いととに生きる人々の立場に立って、背景にある問題の具体例や解決方法について、積極的に思考する態度をもつこと。自ら諸理論の解釈をおこない、教員や学生同土でその活用方法の討論によって、臨床(研究)現場における応用力を向上させること。 「評価方法と評価配分発表と討論の内容(50%)、レポート(50%)評価基準 1 慢性病者に適用される医療・福祉の制度や体制について説明できる。2 質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策とその評価方法について説明できる。3 保健医療福祉サービスの視点から事例を検討し、慢性看護の質の向上に反映させるための方向性を提示できる。4 地域や在宅での療養を支援する方法について理解し、慢性看護の質の向上に反映させるための方向性を提示できる。5 講義や発表内容について、科学的、論理的な視点からの討論により、専門性の高い看護実践をおこなうための課題や方向性を提示できる。上記に対応した評価基準は以下のとおりである。A+上記1~5を自身で達成できる。		
8(//慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(5)障害者総合支援法(日高) 9(//慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(6)難病の医療費助成制度(日高) 110(//慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(7)予防・健康増進事業(日高) 11-12(//質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(1)ピアサポート(日高) 13-14(//質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(2)コミュニティー・エンパワメント(安梅) 15-16(//質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(3)看護情報の管理(浅野) 17-18(//質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(4)EASEプログラムの理論と実践(岡) 19-20(//質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(4)EASEプログラムの理論と実践(同) 19-20(//質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(5)ADL拡大を目指した支援技術(日高) 水における学修方法 対象技術(日高) 対象技		
9(//慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(6)難病の医療費助成制度(日高) 10(//慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(7)予防・健康増進事業(日高) 11・12(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(1)ピアサポート(日高) 13・14(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(2)コミュニティー・エンパワメント(安梅) 15・16(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(3)看護情報の管理(浅野) 17・18(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(4)EASEプログラムの理論と実践(岡) 19・20(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(5)ADL拡大を目指した支援技術(日高) 「第・20(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(5)ADL拡大を目指した支援技術(日高) 「第・10を持ち法」「特殊的に思考する態度をもつこと。自ら諸理論の解釈をおこない、教員や学生同士でその活用方法の討論によって、臨床(研究)現場における応用力を向上させること。 「対して、積極的に思考する態度をもつこと。自ら諸理論の解釈をおこない、教員や学生同士でその活用方法の討論によって、臨床(研究)現場における応用力を向上させること。 「対して、積極的に思考する態度をもつこと。自ら諸理論の解釈をおこない、教員や学生同士でその活用方法の討論によって、臨床(研究)現場における応用力を向上させること。 「対して、積極的に関係を検討し、関性看護の質の向上に反映させるための方向性を提示できる。」 は、復性を療福祉サービスの視点から事例を検討し、慢性看護の質の向上に反映させるための方向性を提示できる。 4 地域や在宅での療養を支援する方法について理解し、慢性看護の質の向上に反映させるための方向性を提示できる。 5 講義や発表内容について、科学的、論理的な視点からの討論により、専門性の高い看護実践をおこなうための課題や方向性を提示できる。 上記に対応した評価基準は以下のとおりである。 A+上記1〜5を自身で達成できる。		
10(/)慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(7)予防・健康増進事業(日高) 11・12(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(1)ピアサポート(日高) 13・14(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(2)コミュニティー・エンパワメント(安梅) 15・16(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(3)看護情報の管理(浅野) 17・18(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(4)EASEプログラムの理論と実践(岡) 19・20(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(5)ADL拡大を目指した支援技術(日高) 病いとともに生きる人々の立場に立って、背景にある問題の具体例や解決方法について、積極的に思考する態度をもつこと。自ら諸理論の解釈をおこない、教員や学生同士でその活用方法の討論によって、臨床(研究)現場における応用力を向上させること。		
11・12(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(1)ピアサポート(日高) 13・14(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(2)コミュニティー・エンパワメント(安梅) 15・16(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(3)看護情報の管理(浅野) 17・18(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(3)看護情報の管理(浅野) 19・20(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(4)EASEプログラムの理論と実践(岡) 19・20(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(5)ADL拡大を目指した支援技術(日高) 病いとともに生きる人々の立場に立って、背景にある問題の具体例や解決方法について、積極的に思考する態度をもつこと。自ら諸理論の解釈をおこない、教員や学生同士でその活用方法の討論によって、臨床(研究)現場における応用力を向上させること。 2質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策とその評価方法について説明できる。 2質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策とその評価方法について説明できる。 3保健医療福祉サービスの視点から事例を検討し、慢性看護の質の向上に反映させるための方向性を提示できる。 4地域や在宅での療養を支援する方法について理解し、慢性看護の質の向上に反映させるための方向性を提示できる。 5 講義や発表内容について、科学的、論理的な視点からの討論により、専門性の高い看護実践をおこなうための課題や方向性を提示できる。		
13・14(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(2)コミュニティー・エンパワメント(安梅) 15・16(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(3)看護情報の管理(浅野) 17・18(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(4)EASEプログラムの理論と実践(岡) 19・20(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(5)ADL拡大を目指した支援技術(日高) 19・20(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(5)ADL拡大を目指した支援技術(日高) 19・20(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(5)ADL拡大を目指した支援技術(日高) 19・20(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(5)ADL拡大を目指した支援技術(日高) 19・20(/)質の高い生活について、19・20(()で表して、19・20()で表して、1		
フメント(安梅) 15・16(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(3)看護情報の管理(浅野) 17・18(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(4)EASEプログラムの理論と実践(岡) 19・20(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(5)ADL拡大を目指した支援技術(日高) 学修時間の割り当て及び授業がいた。 対極的に思考する態度をもつこと。自ら諸理論の解釈をおこない、教員や学生において、積極的に思考する態度をもつこと。自ら諸理論の解釈をおこない、教員や学生に対しての活用方法の討論によって、臨床(研究)現場における応用力を向上させること。 球績評価方法 評価方法と評価配分発表と討論の内容(50%)、レポート(50%) 評価基準 1 慢性病者に適用される医療・福祉の制度や体制について説明できる。2 質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策とその評価方法について説明できる。3 保健医療福祉サービスの視点から事例を検討し、慢性看護の質の向上に反映させるための方向性を提示できる。4 地域や在宅での療養を支援する方法について理解し、慢性看護の質の向上に反映させるための方向性を提示できる。5 請義や発表内容について、科学的、論理的な視点からの討論により、専門性の高い看護実践をおこなうための課題や方向性を提示できる。 上記に対応した評価基準は以下のとおりである。A+ 上記1~5を自身で達成できる。		
15・16(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(3)看護情報の管理(浅野) 17・18(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(4)EASEプログラムの理論と実践(岡) 19・20(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(5)ADL拡大を目指した支援技術(日高) 対応おける学修方法 対応ともに生きる人々の立場に立って、背景にある問題の具体例や解決方法について、積極的に思考する態度をもつこと。自ら諸理論の解釈をおこない、教員や学生同士でその活用方法の討論によって、臨床(研究)現場における応用力を向上させること。 評価方法と評価配分発表と討論の内容(50%)、レポート(50%) 評価基準 1 慢性病者に適用される医療・福祉の制度や体制について説明できる。2 質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策とその評価方法について説明できる。3 保健医療福祉サービスの視点から事例を検討し、慢性看護の質の向上に反映させるための方向性を提示できる。4 地域や在宅での療養を支援する方法について理解し、慢性看護の質の向上に反映させるための方向性を提示できる。5 講義や発表内容について、科学的、論理的な視点からの討論により、専門性の高い看護実践をおこなうための課題や方向性を提示できる。 上記に対応した評価基準は以下のとおりである。 A+ 上記1~5を自身で達成できる。		
野) 17・18(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(4)EASEプログラムの理論と実践(岡) 19・20(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(5)ADL拡大を目指した支援技術(日高) 学修時間の割り当て及び授業病いとともに生きる人々の立場に立って、背景にある問題の具体例や解決方法について、積極的に思考する態度をもつこと。自ら諸理論の解釈をおこない、教員や学生同士でその活用方法の討論によって、臨床(研究)現場における応用力を向上させること。		
17・18(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(4)EASEプログラムの理論と実践(岡) 19・20(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(5)ADL拡大を目指した支援技術(日高) 素いとともに生きる人々の立場に立って、背景にある問題の具体例や解決方法について、積極的に思考する態度をもつこと。自ら諸理論の解釈をおこない、教員や学生同士でその活用方法の討論によって、臨床(研究)現場における応用力を向上させること。 或績評価方法 評価方法と評価配分 発表と討論の内容(50%)、レポート(50%) 評価基準 1 慢性病者に適用される医療・福祉の制度や体制について説明できる。 2 質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策とその評価方法について説明できる。 3 保健医療福祉サービスの視点から事例を検討し、慢性看護の質の向上に反映させるための方向性を提示できる。 4 地域や在宅での療養を支援する方法について理解し、慢性看護の質の向上に反映させるための方向性を提示できる。 5 講義や発表内容について、科学的、論理的な視点からの討論により、専門性の高い看護実践をおこなうための課題や方向性を提示できる。 上記に対応した評価基準は以下のとおりである。 A+ 上記1~5を自身で達成できる。		
論と実践(岡) 19・20(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(5)ADL拡大を目指した 支援技術(日高) 字修時間の割り当て及び授業 病いとともに生きる人々の立場に立って、背景にある問題の具体例や解決方法について、積極的に思考する態度をもつこと。自ら諸理論の解釈をおこない、教員や学生同士でその活用方法の討論によって、臨床(研究)現場における応用力を向上させること。		
19・20(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(5)ADL拡大を目指した支援技術(日高) 学修時間の割り当て及び授業病いとともに生きる人々の立場に立って、背景にある問題の具体例や解決方法について、積極的に思考する態度をもつこと。自ら諸理論の解釈をおこない、教員や学生同士でその活用方法の討論によって、臨床(研究)現場における応用力を向上させること。 或績評価方法 評価方法と評価配分 発表と討論の内容(50%)、レポート(50%) 評価基準 1 慢性病者に適用される医療・福祉の制度や体制について説明できる。 2 質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策とその評価方法について説明できる。 3 保健医療福祉サービスの視点から事例を検討し、慢性看護の質の向上に反映させるための方向性を提示できる。 4 地域や在宅での療養を支援する方法について理解し、慢性看護の質の向上に反映させるための方向性を提示できる。 5 講義や発表内容について、科学的、論理的な視点からの討論により、専門性の高い看護実践をおこなうための課題や方向性を提示できる。 上記に対応した評価基準は以下のとおりである。 A+ 上記1~5を自身で達成できる。		
支援技術(日高) 学修時間の割り当て及び授業 外における学修方法 がにおける学修方法 がにおける学修方法 がにおける学修方法 がにおける学修方法 がにおける学修方法 がにおける学修方法 がにおける学修方法 がにおける学修方法 ができる。 は続評価方法 が、表と評価配分 発表と討論の内容(50%)、レポート(50%) 評価基準 1 慢性病者に適用される医療・福祉の制度や体制について説明できる。 2 質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策とその評価方法について説明できる。 3 保健医療福祉サービスの視点から事例を検討し、慢性看護の質の向上に反映させるための方向性を提示できる。 4 地域や在宅での療養を支援する方法について理解し、慢性看護の質の向上に反映させるための方向性を提示できる。 5 講義や発表内容について、科学的、論理的な視点からの討論により、専門性の高い看護実践をおこなうための課題や方向性を提示できる。 上記に対応した評価基準は以下のとおりである。 A+ 上記1~5を自身で達成できる。		
学修時間の割り当て及び授業 外における学修方法 外における学修方法 がでその活用方法の討論によって、臨床(研究)現場における応用力を向上させること。 同士でその活用方法の討論によって、臨床(研究)現場における応用力を向上させること。 就績評価方法 評価方法と評価配分 発表と討論の内容(50%)、レポート(50%) 評価基準 1 慢性病者に適用される医療・福祉の制度や体制について説明できる。 2 質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策とその評価方法について説明できる。 3 保健医療福祉サービスの視点から事例を検討し、慢性看護の質の向上に反映させるための方向性を提示できる。 4 地域や在宅での療養を支援する方法について理解し、慢性看護の質の向上に反映させるための方向性を提示できる。 5 講義や発表内容について、科学的、論理的な視点からの討論により、専門性の高い看護実践をおこなうための課題や方向性を提示できる。 上記に対応した評価基準は以下のとおりである。 A+ 上記1~5を自身で達成できる。		
外における学修方法 いて、積極的に思考する態度をもつこと。自ら諸理論の解釈をおこない、教員や学生同士でその活用方法の討論によって、臨床(研究)現場における応用力を向上させること。	W 15-1-155	
同士でその活用方法の討論によって、臨床(研究)現場における応用力を向上させること。		
できる。 では、	外における学修方法	
発表と討論の内容(50%)、レポート(50%) 評価基準 1 慢性病者に適用される医療・福祉の制度や体制について説明できる。 2 質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策とその評価方法について説明できる。 3 保健医療福祉サービスの視点から事例を検討し、慢性看護の質の向上に反映させるための方向性を提示できる。 4 地域や在宅での療養を支援する方法について理解し、慢性看護の質の向上に反映させるための方向性を提示できる。 5 講義や発表内容について、科学的、論理的な視点からの討論により、専門性の高い看護実践をおこなうための課題や方向性を提示できる。 上記に対応した評価基準は以下のとおりである。 A+ 上記1~5を自身で達成できる。		こと。
発表と討論の内容(50%)、レポート(50%) 評価基準 1 慢性病者に適用される医療・福祉の制度や体制について説明できる。 2 質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策とその評価方法について説明できる。 3 保健医療福祉サービスの視点から事例を検討し、慢性看護の質の向上に反映させるための方向性を提示できる。 4 地域や在宅での療養を支援する方法について理解し、慢性看護の質の向上に反映させるための方向性を提示できる。 5 講義や発表内容について、科学的、論理的な視点からの討論により、専門性の高い看護実践をおこなうための課題や方向性を提示できる。 上記に対応した評価基準は以下のとおりである。 A+ 上記1~5を自身で達成できる。		=== /== + _ == /= == /\
評価基準 1 慢性病者に適用される医療・福祉の制度や体制について説明できる。 2 質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策とその評価方法について説明できる。 3 保健医療福祉サービスの視点から事例を検討し、慢性看護の質の向上に反映させるための方向性を提示できる。 4 地域や在宅での療養を支援する方法について理解し、慢性看護の質の向上に反映させるための方向性を提示できる。 5 講義や発表内容について、科学的、論理的な視点からの討論により、専門性の高い看護実践をおこなうための課題や方向性を提示できる。 上記に対応した評価基準は以下のとおりである。 A+ 上記1~5を自身で達成できる。		
1 慢性病者に適用される医療・福祉の制度や体制について説明できる。 2 質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策とその評価方法について説明できる。 3 保健医療福祉サービスの視点から事例を検討し、慢性看護の質の向上に反映させるための方向性を提示できる。 4 地域や在宅での療養を支援する方法について理解し、慢性看護の質の向上に反映させるための方向性を提示できる。 5 講義や発表内容について、科学的、論理的な視点からの討論により、専門性の高い看護実践をおこなうための課題や方向性を提示できる。 上記に対応した評価基準は以下のとおりである。 A+ 上記1~5を自身で達成できる。		
2 質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策とその評価方法について説明できる。 3 保健医療福祉サービスの視点から事例を検討し、慢性看護の質の向上に反映させるための方向性を提示できる。 4 地域や在宅での療養を支援する方法について理解し、慢性看護の質の向上に反映させるための方向性を提示できる。 5 講義や発表内容について、科学的、論理的な視点からの討論により、専門性の高い看護実践をおこなうための課題や方向性を提示できる。 上記に対応した評価基準は以下のとおりである。 A+ 上記1~5を自身で達成できる。		
きる。 3 保健医療福祉サービスの視点から事例を検討し、慢性看護の質の向上に反映させるための方向性を提示できる。 4 地域や在宅での療養を支援する方法について理解し、慢性看護の質の向上に反映させるための方向性を提示できる。 5 講義や発表内容について、科学的、論理的な視点からの討論により、専門性の高い看護実践をおこなうための課題や方向性を提示できる。 上記に対応した評価基準は以下のとおりである。 A+ 上記1~5を自身で達成できる。		
3 保健医療福祉サービスの視点から事例を検討し、慢性看護の質の向上に反映させるための方向性を提示できる。 4 地域や在宅での療養を支援する方法について理解し、慢性看護の質の向上に反映させるための方向性を提示できる。 5 講義や発表内容について、科学的、論理的な視点からの討論により、専門性の高い看護実践をおこなうための課題や方向性を提示できる。 上記に対応した評価基準は以下のとおりである。 A+ 上記1~5を自身で達成できる。		
るための方向性を提示できる。 4 地域や在宅での療養を支援する方法について理解し、慢性看護の質の向上に反映させるための方向性を提示できる。 5 講義や発表内容について、科学的、論理的な視点からの討論により、専門性の高い看護実践をおこなうための課題や方向性を提示できる。 上記に対応した評価基準は以下のとおりである。 A+ 上記1~5を自身で達成できる。		
4 地域や在宅での療養を支援する方法について理解し、慢性看護の質の向上に反映させるための方向性を提示できる。 5 講義や発表内容について、科学的、論理的な視点からの討論により、専門性の高い看護実践をおこなうための課題や方向性を提示できる。 上記に対応した評価基準は以下のとおりである。 A+ 上記1~5を自身で達成できる。		
させるための方向性を提示できる。 5 講義や発表内容について、科学的、論理的な視点からの討論により、専門性の高い看護実践をおこなうための課題や方向性を提示できる。 上記に対応した評価基準は以下のとおりである。 A+ 上記1~5を自身で達成できる。		
5 講義や発表内容について、科学的、論理的な視点からの討論により、専門性の高い看護実践をおこなうための課題や方向性を提示できる。 上記に対応した評価基準は以下のとおりである。 A+ 上記1~5を自身で達成できる。		
い看護実践をおこなうための課題や方向性を提示できる。 上記に対応した評価基準は以下のとおりである。 A+ 上記1~5を自身で達成できる。		
上記に対応した評価基準は以下のとおりである。 A+ 上記1~5を自身で達成できる。		
A+ 上記1~5を自身で達成できる。		い看護実践をおこなうための課題や方向性を提示できる。
A+ 上記1~5を自身で達成できる。		
		上記に対応した評価基準は以下のとおりである。
		A+ 上記1~5を自身で達成できる。
		A 上記1~5をほぼ自身で達成できる。
B 上記1~5を教員の指導を受けながら達成できる。		
C 上記1~5を教員の指導を受けながら概ね達成できる。		
D 上記1~5を教員の指導のもとでも達成できない。		
	**** * **** **************************	
教材·参考文献·配布資料等 │適宜参考資料を提示する。	教材·参考文献·配布資料等	週且奓汚質料を提示する。

その他(受講生にのぞむことや わからないことは、その場で質問し解決すること。 受講上の注意点等)